第３回 黒部駅西側出口整備等利便性向上基本構想推進協議会

全体議事録

１開会

２挨拶

３協議事項

・　事務局より協議第３号「黒部駅西側出口等利便性向上基本構想［黒部駅周辺地区バリアフリー基本構想］（案）」について説明

【以下、質疑応答】

委員　　令和７年度の４月から事業が始まるということだと思うが、まずは何から着手するのか。

事務局　　教育啓発特定事業は継続実施であり、令和７年度も引き続き実施する。それ以外については、現在、黒部駅施設整備に向けて基本計画の策定を進めており、令和７年度は引き続き整備に向けて基本設計を行っていく。具体的な工事内容は今後の検討となるため令和７年度の工事実施は予定しておらず、具体的な事業実施時期は、現状ではお答えできない。

委員　　バリアフリー基本構想と黒部駅施設整備は切り離して考えるという話が気になっており、駅舎の改修内容と自由通路の整備内容との整合がとれるのか懸念している。どちらかについて議論する時は、必ず他方を念頭に置き、進捗を確認しながら議論を進めるべきだと思う。

事務局　　仰るとおりであり、関連事業と齟齬や手戻りが生じないように、バリアフリー基本構想の推進・進捗管理・効果検証・見直しを適宜行っていく。

会長　　バリアフリー基本構想と黒部駅施設整備の調整を絶えず行い、抜け漏れ、矛盾、事業の後戻りが無いように、進捗状況のすり合わせをしていくことをお願いしたい。

委員　　再確認だが、バリアフリー基本構想の内容は、第２次黒部市総合振興計画後期基本計画を変更するものではないという理解でよろしいか。

事務局　　変更するものではない。

委員　　バリアフリー基本構想に沿った事業が行われているのかどうかを担当課（都市計画課）が確認する体制を構築するべきではないか。切り離して考えるのは違うのではないか。

事務局　　切り離して考えるとは、各事業は今後個別で検討していくという意味であり、各事業のバリアフリー化の方向性はバリアフリー基本構想に沿った内容にする必要がある。バリアフリー基本構想と各事業内容の整合の確認等については、委員や住民の皆様にも関与していただきたいと考えている。

委員　　あいの風とやま鉄道と連携して、例えば出入口の建具を開閉しやすい構造に改修するなど、出来ることから事業を進めてもらうことで、事業が進んでいることを住民が実感できるようにしていただきたい。

会長　　「切り離す」という言葉が、各案を完全に切り離して考えると受け取られているように思うが、第２次黒部市総合振興計画後期基本計画が上位計画であり、各種計画は第２次総合振興計画後期基本計画に基づいて、関連計画との関係性を踏まえて検討を進めている。各計画の担当部署と協議を重ね、互いに確認や連携をとることが重要だと思う。また、事業の進捗状況等を適宜ホームページや市政だより等で公にすることが重要だと思う。

事務局　　具体的にどのような形で推進・進捗管理を行っていくかは、今後検討していく。教育啓発特定事業については関係団体や市民の方々と一緒に取り組んでいく必要がある。そのような部分も含めて検討していきたい。

委員　　生活関連施設が３つだけであることについて、バリアフリー基本構想の中で一般の方が納得できるような根拠を示すとよいのではないか。

事務局　　バリアフリー基本構想の公表までに、生活関連施設の選定理由が分かりやすくなるように修正を検討したい。

会長　　どのように３つの施設にしぼったかの説明があればよいと思う。

会長　　協議事項第３号について、おおむね原案通りとしてよいか。

一同　　（承認）

会長　　今後ホームページ等で市民の方々から意見をお聞きし、必要に応じて対応を行う。大きな変更が無ければ、事務局と会長で取りまとめをしてよいか。

一同　　（承認）

会長　　協議事項第３号は承認とする。パブリックコメントの結果は各委員に後日知らせる。

４その他

・　特に無し

５閉会

以上